

策定年月	令和6年10月
見直し年月	令和〇年〇月

麦・大豆国産化プラン

産地名：高崎市（南新波地区）

（作成主体：高崎地域農業再生協議会）

1. 麦・大豆生産の現状と課題及び課題解決に向けた取組方針

【現状】

本地区が所在する高崎市では米、麦類、大豆、飼料作物を中心とした二毛作による水田農業が行われているが、主食用米の需要減少等による過剰在庫を背景とした米の販売価格の下落や、天候不良等による麦類等の品質低下などにより、本市の農業を取り巻く環境は厳しい状況にある。

【課題及び課題解決に向けた取組方針】

- ・ 農家の経営安定化に向けた生産体制の強化
- ・ 今後、更なる拡大が見込まれる遊休農地への対応
 - ⇒ 農地所有者へ農地中間管理機構の活用を周知するとともに、担い手への農地集約を進める。
- ・ 収穫適期における作業効率の向上
 - ⇒ 作付面積に応じた農業機械導入により作業効率及び生産性の向上を図る。
- ・ 実需者の求める品質と収量の確保
 - ⇒ 播種前契約に基づく作付け、赤かび病防除やGAPの取組で実需者の求める品質・収量確保を目指す。
- ・ 連作障害、湿害への対応
 - ⇒ ブロックローテーションの推進により、発生防止を図る。

※ 麦・大豆生産における課題(湿害対策、適期播種、土づくり、連作障害対策等の必要性等)を具体的に記載すること。

※ 課題解決に向けて取り組む内容及び今後の生産拡大に向けた方針を具体的に記載すること。

2. 産地と実需者との連携方針

連携方針

ＪＡたかさき、全農ぐんまと連携し、実需者の需要・要望把握に努め、需要に応じた生産を推進する。

・高崎市（南新波地区） 中心となる農業者：

品目	品種	現状（Ｒ５） （ｔ）	目標（Ｒ９） （ｔ）	ＪＡたかさき 契約数量 （Ｒ５）（ｔ）	供給先 （名称）
六条大麦	シュンライ	123.5	135.9	323.7	

品目	品種	現状（Ｒ５） （ｔ）	目標（Ｒ９） （ｔ）	ＪＡたかさき 契約数量 （Ｒ５）（ｔ）	供給先 （名称）
大豆	里のほほえみ	12.1	13.3	24.2	

※ 産地と実需者については具体的な名称を記載すること。

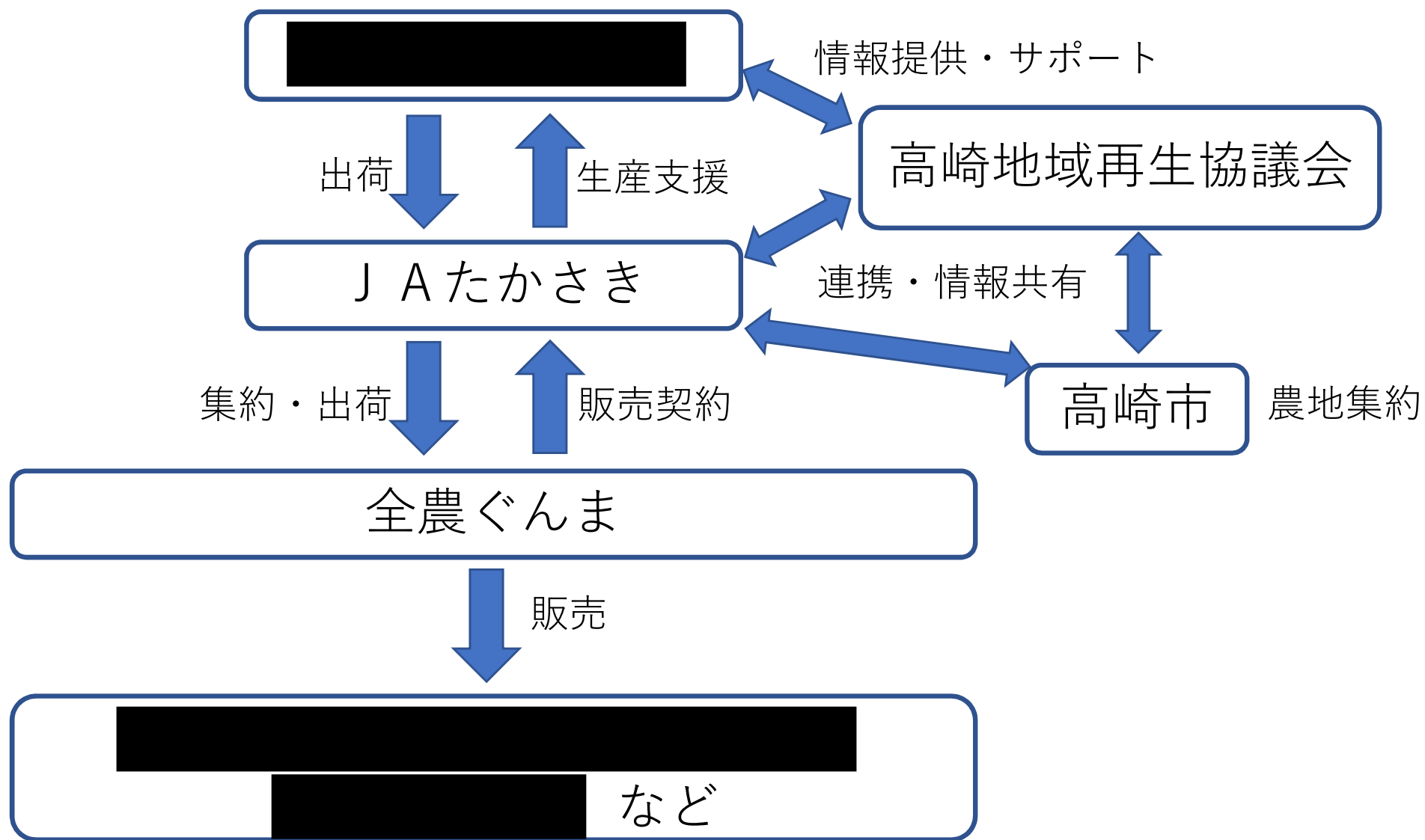
※ 麦の実需者は、麦を原料とした加工品等の製造を業とする者（製粉会社、製パン会社、製麺会社等）とする。

※ 大豆の実需者は、大豆を原料とした加工品等の製造を業とする者、大豆の販売を業とする者及びこれらの者が組織する法人その他の団体とする。

なお、販売を業とする者を実需者とする場合は、その者が販売する先（最終実需者）について、代表的な者の名称を記載すること。

※ 産地と実需者それぞれの国産麦・大豆取扱量の現状とおおむねの目標値を記載すること。

3. 麦・大豆の国産化に向けた推進体制及び各関係者の役割



※ 産地と実需者との連携について、図等を用いて明示すること。

※ 取組の中心となる農業者等を必ず位置付けること。